

# 個別の学習スペース



- 自立課題ボックスが仕切りの一部も兼ねており、個別の学習スペースを作り出している。
- 目から入る情報が多いと集中が途切れてしまう傾向にある場合は、囲まれた空間により、視覚的な情報量を減らすことができる。他の人の視線に敏感な傾向にある場合は、囲まれた空間により、安心して学習を進めやすくする。

## プラス情報

聴覚的な刺激に敏感な傾向にある場合は、動かすときに音が出ないように、机や椅子の脚にフェルトやテニスボールをつけることもある。

